

(仕様書第 3 号様式)

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書 令和 5 年 7 月～10 月分

(作成日 令和 5 年 10 月 17 日現在)

1. 業務の名称

かながわコミュニティカレッジ運営業務

2. 実施した業務の内容、所見等**(1) 講座企画・編成方針、講座開催計画****●講座実施団体、講師等との企画調整**

講座開催計画に沿って全 31 講座 (34 件) の講座企画実施団体又は講師と連絡を取り、開催時期や内容等の調整・確認を行いました。7 月 7 日 (金) より順次、計画した講座を運営・実施しています。講座開講中は、講座企画実施団体や講師を支援するため、机の配置やグループ分け作業、受講生名簿の配布、受講生アンケートのフィードバックなどを行っています。

なお、計画変更や開催方法の変更に対応した講座の実施状況は以下の通りです。

<講座の追加実施>

- ・ 「傾聴講座 (入門編) ～人と関わる活動に向けてのスタート～」は、同一内容の講座を 7 月と 9 月に開催しましたが、定員を大幅に超える申込があったことから、申込者のうち抽選で受講できなかった方を対象に 3 回目の講座を案内し、11 月に開催する予定です。
- ・ 「防災教育ファシリテーター養成講座 (初級編)」は、同講座のステップアップとして、上級編を 10 月末から連携講座で開催する予定です。

<台風影響への対応>

- ・ 「地域のつながりで始めるあなたのウェルビーイング」(夜間講座) では、初回の 9 月 8 日が台風 13 号の影響を受ける可能性があったため、予めの対応として、対面講座をオンラインで実施することにしました。受講生には電話、メール等で連絡をとり、全員に事前にお知らせすることができ、当日はトラブルなく講義を予定通りに実施することができました。この講座は当初より対面とオンラインを組み合わせる講座であり、受講生のオンライン環境準備が整っていたことが対応をスムーズにしたと考えられます。
- ・ 「犯罪被害者支援ボランティア養成講座 初・中級」では、第 8 回 9 月 8 日に台風 13 号の影響で講座に出席できない受講生がいたため、急遽、講師及び講座実施団体の許可を取って講義を撮影し、YouTube の限定公開で欠席者が視聴できるよう対応しました。

(2) 受講生募集のための広報について

7 月以降も引き続き、広報準備と受講生募集を行いました。個別の広報活動は以下のとおりです。

- ・ 主催講座と連携講座の募集案内をそれぞれ作成、県内の公共施設等に配架依頼をしました。
- ・ 講座情報を下記の媒体を通じて告知しました。

県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県のHP及び当団体運営HP）、講座修了生向けメール、基金事業課・NPO 協働推進課のメールマガジン、県の Twitter、Facebook 等

- ・ かながわ県民センター1 階の展示コーナーで、募集中のチラシの掲示と配架、デジタルサイネージでの広報を行いました。
- ・ 「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」（神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室コミュニティ活性化グループ）に参加し、かながわコミュニティカレッジの情報提供や定例意見交換会での情報共有などを行いました。

(3) 自由企画提案業務など

修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援に資する下記の取組みをおこなっています。

●修了生アンケートの実施

- ・ 令和 4 年度講座修了生を対象にアンケート調査を実施。6 月上旬に修了生総数 429 名（延べ修了者数 523 名）にアンケート紙を郵送し、回収・集計を行いました。（7 月 15 日の締切を 7 月 30 日まで延長、最終回収 9 月 8 日）回答者数は 145 人、回答率は 33.8%でした。
※修了生アンケート調査報告は別紙参照
- ・ アンケート調査時に「近況報告シート」を同封したところ、61 名の修了生から活動状況や近況報告を返送いただきました。「近況報告シート」は、講義室 1 の外壁を利用したコミュニケーションボードに掲示しています。

●県内市町村・公施設等との情報連携

- ・ 県内のボランティア活動支援施設等で定期的に発行されている情報紙やチラシを、講義室 1・2 の室内に設置したパンフレットスタンドや、講義室 1 の壁面コミュニケーションボードに配架、掲示し受講生の活動に役立つ情報提供を行っています。
- ・ 県内の社会福祉協議会等にも連絡し、定期的に発行されている広報紙やボランティア情報の冊子なども送っていただき、配架や閲覧用として受講生に情報提供しています。
- ・ 講義室 1 の外壁を利用したコミュニケーションボードに、市民活動支援施設で開催される講座案内など、受講生の今後の活動に役立つ情報を掲示しています。令和 4 年度修了生から寄せられた「近況報告」も掲示して、受講生の活動をバックアップしています。

●「ボランティア活動相談窓口」との連携

- ・ 講座受講生には「ボランティア活動相談窓口」のチラシを配布し、活動に関する相談先としての情報提供を行っています。講座企画実施団体に直接相談することに加え、積極的に相談窓口を利用してもらえよう案内をしています。

●修了生及び登録者への定期的なメール配信

- ・ 過去の講座修了生（メール配信希望者）と、県のホームページ経由で申込のあったメール配信登録者に宛て、講座情報や相談窓口案内を掲載したメール情報を配信しました。（配信件数：3,654 件 ※不達除く 8 月 31 日時点）

●受講生のフォローアップ

- ・ 「災害ボランティア入門講座」「災害ボランティアコーディネーター」「防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）横浜会場・小田原会場」の修了生に、『令和5年7月秋田県大雨災害秋田市被災地復旧支援ボランティアバス参加者募集』の案内をメールでお知らせしました。
- ・ 防災・災害支援分野の4講座に「ぼうさいこくたい2023」の案内を情報提供しました。
- ・ 「地域のつながりで始めるあなたのウェルビーイング」では、講座開催期間中に受講生への情報提供として、川崎市内の中間支援組織が開催した『地域の居場所見学会』（川崎市中原区）のご案内をしました。

以 上

かながわコミュニティカレッジ 令和4年度修了生アンケート調査結果 [報告書]

1 調査概要

(1) 調査の趣旨

受講生への相談体制・情報提供の充実など、学んだことを生かす仕組みづくりや、講座ニーズを把握して今後の運営や講座を充実させるため、かながわコミュニティカレッジ修了生に対してアンケートを実施した。

(2) 調査実施期間

令和5年6月15日～7月31日 最終回収日9月8日

(3) 調査対象

かながわコミュニティカレッジで令和4年度に実施した県主催23講座の修了生

(4) 回答者数

- ・修了生総数 429人 (延べ修了者数 523人)
- ・回答者数 145人 (延べ回答者数 173人)
- ・回答率 33.8% (延べ回答率 33.1%)

※複数講座受講者が講座ごとに回答するため、集計は延べ人数となる

(参考：前回調査(R3) 24講座で延べ修了生520人、延べ回答者数172人、回答率33.1%)

(5) 回答方法

調査票を郵送し、郵送またはWebフォームで回答を受け付け

- ・郵送での回答 112人 77.2%
- ・Webでの回答 33人 22.8%

(6) 回答者の属性

ア 年齢

回答者の年齢は60歳代が52人(35.9%)で最も多く、次に50歳代が45人(31.0%)、40歳代が21人(14.5%)であった。

(人数)	計	全体比
10歳未満	0	0.0%
10歳代	0	0.0%
20歳代	1	0.7%
30歳代	5	3.4%
40歳代	21	14.5%
50歳代	45	31.0%
60歳代	52	35.9%
70歳代	16	11.0%
80歳以上	1	0.7%
無回答	4	2.8%
計	145	100.0%

イ 令和4年度にご受講いただいた講座

<講座名>	回答者数	修了者数	回答率
01 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（基礎編）	10	29	34.5%
02 犯罪被害者支援ボランティア養成講座（初中級）	7	17	41.2%
03 傾聴講座（入門編） ～人と関わる活動に向けてのスタート～	24	81	29.6%
04 災害ボランティア入門講座	9	25	36.0%
05 災害ボランティアコーディネーター基礎講座	5	13	38.5%
06 NPO会計講座	6	19	31.6%
07 避難所運営に必要な多様性に配慮した視点を学ぶ	3	13	23.1%
08 ～あなたの人生聞かせてください～ 聞き書きボランティア養成講座	11	28	39.3%
09 共助の地域づくりを推進する講座	6	17	35.3%
10 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（実践編）	9	26	34.6%
11 空き家活用による地域課題の解決と価値の生み出し方	6	21	28.6%
12 多文化共生時代を生きる～多様に進む市民活動や大学等との地域連携～	3	5	60.0%
13 地域活動リーダー養成講座	6	14	42.9%
14 NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座	7	25	28.0%
15 子育て期の相談リسالケアラー養成講座（入門編）	10	24	41.7%
16 世界基準の障害教育=障害平等研修（DET）	2	8	25.0%
17 食品ロス削減・有効活用の現状を学び、地域での食支援活動を実践する	2	3	66.7%
18 傾聴講座（実践編） ～良好な関係づくりへステップアップ～	7	27	25.9%
19 大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座	11	25	44.0%
20 園芸療法ボランティア入門講座	12	26	46.2%
21 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～	9	33	27.3%
22 新聞記者に学ぶ 広報紙作りの基礎講座	4	22	18.2%
23 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座	3	22	13.6%
無回答	1	0	-
計	173	523	33.1%

※回答者数、修了者数は延人数

2 主な調査結果 (以下、延べ回答者数をもとに集計)

(1) 受講後の変化について

問1 現在、何らかの地域活動を行っているか。

何らかの地域活動を「行っている」との回答が101人(69.7%)であった。

	人	全体比
行っている	101	69.7%
行っていない	44	30.3%
無回答	0	0.0%
計	145	100.0%

問2-1 問1で「行っている」と回答した修了生(101人)は、どのような活動を行っているか。(複数回答可)

「ボランティア団体の活動やNPO活動への参加」が76人(75.2%)と最も多く、次いで「自治会・町内会活動への参加」が26人(25.7%)、「地域や学校のイベント等への参加・手伝い」が21人(20.8%)であった。

	人	全体比
ボランティア団体の活動やNPO活動への参加	76	75.2%
新たなボランティア、NPO活動の準備・立ち上げ	9	8.9%
自治会・町内会活動への参加	26	25.7%
地域や学校のイベント等への参加・手伝い	21	20.8%
その他	18	17.8%
無回答	0	0.0%
計	150	-

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

<「その他」の具体的な回答内容>

○福祉の活動

- ・ 認知症カフェや家族の会への参加手伝い
民生委員、児童委員
- ・ ひきこもりの家族会「KHJ横浜ばらの会」の運営スタッフ(役員)
- ・ 認知症サポーター養成講座⇒認知症キャラバン・メイトエントリー。川崎市にある障がい者施設のボランティア、リンドケアを行うチームで認知症予防の相談
- ・ 民生委員
- ・ 病院等への付き添い
- ・ ひきこもりの子を持つ親の会の運営
- ・ 生活困窮支援、断酒会、子ども食堂、精神保健福祉ボランティア
- ・ 失語症の自主グループ

○地域活性化の活動

- ・ 自分たちがやりたいサークルの準備
- ・ 隣助
- ・ 民生委員、児童委員
- ・ SDGsに関係する手作り品の販売
市の『防災マイスター』に登録
オンラインでコミュニティを共催
まちづくり任意団体の運営

○子育て・教育の活動

- ・ 学校への送り、水族館等への付き添い
- ・ 地域子育て支援活動
- ・ 図書館での読み聞かせ
- ・ コミュニティカフェでの子育てサロン運営
- ・ 学童運営委員
- ・

○その他の活動

- ・ 勉強会

問2-2 問1において「行っている」と回答した修了生（101人）の現在行っている活動は、講座の受講をきっかけに始めたものか。

「現在の活動は、講座受講がきっかけではない」が73人（72.3%）で最も多く、「講座受講をきっかけに活動を始めた」は20人（19.8%）であった。

	人	全体比
講座受講をきっかけに活動を始めた	20	19.8%
現在の活動は、講座受講がきっかけではない	73	72.3%
現在の活動は、受講がきっかけかどうかはわからない・どちらともいえない	6	5.9%
無回答	2	2.0%
計	101	100.0%

問3 新たに始めた活動の具体的な内容 （）内は受講講座名称の略

- ・ 生活困窮者の居住支援、ひきこもりの方の親ごさん自身の相談（聞き書き、空き家活用）
- ・ 鎌倉市、傾聴ボランティアに加入しています。（傾聴入門）
- ・ 「プラっとカフェ」0歳～3才のお子さんと親が気軽に立ち寄れる場所。子どもの一時預かりもしている。（食品ロス削減）
- ・ 地域の居場所作り、準備中です。（共助の地域づくり）
- ・ 60代、これまでと違った居場所作り（地域活動リーダー、園芸療法）
- ・ 参加している心がまえが変化したと思う。（避難所運営）
- ・ 相模原市のグリーンスローモビリティ運行実証を緑区若葉台地区でこの6月8日～7月31日、スタート。その運行主体地域の「グリスロ若葉台の会」を立上げ、スタートする。（共助の地域づくり）
- ・ 電話相談（犯罪被害者支援）
- ・ 犯罪被害者支援ボランティア（犯罪被害者支援）
- ・ 障がい児支援（発達障がい児支援実践、リスナルケアラー、大人のひきこもり）
- ・ 理科好きの子どもを育成する（NPOボランティア団体の活動 基礎）
- ・ 障がい者施設の園芸ボランティア（傾聴実践、園芸療法）
- ・ 海岸、河川整備、防犯活動を実施（災害ボランティアコーディネーター基礎）
- ・ 障がい児をもつ親、子との合流⇒町歩き、おかし作り、話し合いをする。（地域活動リーダー）
- ・ 日本語ボランティア（聞き書き、大人のひきこもり）

- ・ 認知症キャラバンメイトのエントリー。認知症予防相談士としての活動（地域活動リーダー）
- ・ 支援を必要としている方のサポート（犯罪被害者支援、新聞記者に学ぶ文章）
- ・ 民生委員（傾聴入門）
- ・ 公園の草花の管理や清掃などを行っている地域グループに参加（園芸療法）
- ・ 表情筋トレーニング（新聞記者に学ぶ文章）
- ・ 子育て支援、援農ボランティアなど（共助の地域づくり）
- ・ 防災委員、夫の愛護会の手伝いなど、微力ながら参加程度（傾聴入門）
- ・ エコバッグ系（空き家活用）
- ・ 相模原市の防災ボランティアとして『防災マイスター』制度があり、登録しました。
（災害ボランティア入門、災害ボランティアコーディネーター基礎）
- ・ 家庭教育、子育て支援（共助の地域づくり、空き家活用）
- ・ 小学校寺子屋先生ボランティア、日本語ボランティア、視覚障害者に声での情報をCDで届けるボランティア、地域のおしゃべりの会への参加（傾聴入門）
- ・ コロナ渦で中止になってしまったボラ（現在再開）がありそれに代わるボランティアを始めました。（園芸療法）
- ・ 外国人に、日本語を教えるボランティアです（新聞記者に学ぶ文章）

問4-1 問1で「地域活動を行っていない」と回答した修了生（44人）は、今後何らかの活動をおこなってみたいと思っているか。

「行ってみたい」が37人（84.1%）、「今のところ考えていない」が11人（25.0%）であった。

	人	全体比
行ってみたい	37	84.1%
今のところ考えていない	11	25.0%
無回答	1	2.3%
計	49	111.4%

問4-2 問1で「地域活動を行っていない」と回答した修了生（44人）が、現在活動が出来ない理由は何か。（複数回答可）

「多忙である」27人（61.4%）が最も多く、次いで「活動に向けて現在準備・勉強中である」が18人（40.9%）、「自分に合った活動内容・活動先が見当たらない」「その他」の理由が各12人（27.3%）であった。

	人	全体比
自分に合った活動内容・活動先が見当たらない	12	27.3%
活動に向けて現在準備・勉強中である	18	40.9%
多忙である	27	61.4%
新型コロナウイルスの影響	2	4.5%
その他	12	27.3%
無回答	0	0.0%
計	71	-

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

＜「その他」の具体的な回答内容＞ ()内は受講講座名称の略

- ・ 仕事を見つけることができた(傾聴入門)
- ・ 今まで続けてきた教室に力を入れたい。(園芸療法)
- ・ 介護中(災害ボランティア入門)
- ・ 仕事と、他のボランティア活動と過程との兼ね合いで今すぐには難しいのですが、将来的にはやってみたいと思っています。(聞き書き)
- ・ 新たにわかった身体的なこともあり、しばらく様子を見ようと思います。又、なかなか自分に合った活動が、まだよくわからないという事もあります。(傾聴入門)
- ・ 出来ないというより、やりたいと思わない。(自分自身の向上が主目的だから。)(大人のひきこもり)
- ・ 就業中のため(犯罪被害者支援)
- ・ 仕事をしているため(傾聴入門)
- ・ 会社勤務継続中(傾聴入門)
- ・ 体調不良、家庭内の問題(犯罪被害者支援)
- ・ 孫と同居しているため時間が自由に使えない(聞き書き)
- ・ 高齢のため頭もボケてきて足もヨチヨチ歩きになってきたため(食品ロス削減)
- ・ 体調を崩しているため(傾聴入門)

(2) 講座の有用度について

問5-1 修了した講座は、その後の地域活動や生活に役立ったか。

「大変役立った」「少し役立った」を合わせ152人(87.9%)が「役立った」と感じ、「あまり役立たなかった」「全く役立たなかった」を合わせて14人(8.2%)が「役立たなかった」と感じている。

	人	全体比
大変役立った	98	56.6%
少し役立った	54	31.2%
あまり役立たなかった	12	6.9%
まったく役立たなかった	2	1.2%
無回答	7	4.0%
計	173	100.0%

役立った	
152	87.9%
役立たなかった	
14	8.2%

問5-2 どのようなところが役立ったか。(複数回答可)

問5-1で「役立った」と感じた152人の内、「必要な知識が得られた」が117人(77.0%)と最も多く、次いで「従来活動を充実させるきっかけとなった」が59人(38.8%)、「新たな活動のきっかけとなった」が33人(21.7%)となっている。

(人数)	計	全体比
新たな活動のきっかけとなった	33	21.7%
従来活動を充実させるきっかけとなった	59	38.8%
必要な知識が得られた	117	77.0%
他の受講生・講師と繋がりが出来た	23	15.1%
その他	10	6.6%
無回答	11	7.2%
計	253	—

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

＜「その他」の具体的な回答内容＞ ()内は受講講座名称の略

- ・みだしのつけ方(新聞記者に学ぶ広報紙)
- ・他人との接し方を考えるきっかけ(傾聴入門)
- ・ボランティア活動を始めています(傾聴入門)
- ・高齢でも人の役に立つことをしている方に影響を受けた。(食品ロス削減)
- ・意識改革、新たな仲間作り(地域活動リーダー)
- ・新たなサークルを作って下さり参加できた(園芸療法)
- ・植物、土、環境など今まで以上に関心が出た。(園芸療法)
- ・高齢社会の中、さまざまな経験をしてきた。老人の方々からいろいろなお話を伺い、文字にすることで、後世に伝えていくことができることは貴重であると思います。(聞き書き)
- ・知識だけでなく、心のあり方とか、相手の方との向き合い方なども、とても丁寧に学ぶことが多かったです。そして楽しかった。(聞き書き)
- ・人と接する時、無理のない範囲で多様な見方を考えてみるがあります。(傾聴入門)
- ・会社の人間関係、自分自身の考え方・生き方(リスナルケアラー)
- ・今までと違う角度から相手を観察することを意識できるようになったので、対応しやすくなった(リスナルケアラー)
- ・災害のマッチングのイメージづくり。多様な意見の方向付け、価値の優先順位付の重要性認識。(災害ボランティアコーディネーター基礎)
- ・防災を体系的に理解する(災害ボランティアコーディネーター基礎)
- ・講師をばらの会でも依頼した。(大人のひきこもり)
- ・アフターでののみにケーションが親交を深めた(地域活動リーダー)
- ・活動の幅が広がった。機会も増えた。(地域活動リーダー)
- ・文章の伝え方に役立ったと思います。(新聞記者に学ぶ文章)
- ・今まで気づけなかったことを知るきっかけとなった。(園芸療法)
- ・チラシ作り(新聞記者に学ぶ文章)
- ・受講生との交流を通して情報交換(傾聴入門)
- ・実践についてはもっと具体的に掘り下げていきかけた。(傾聴実践)
- ・無知だったので、先ずは知ることができた。(共助の地域づくり)
- ・育児相談で発達障がい案件があるため(発達障がい児支援基礎)
- ・仕事(対人関係)をする上で参考になります。(傾聴入門)
- ・空き家に関心を持つようになりました。(空き家活用)
- ・子供理解につながった(大人のひきこもり)
- ・子どもの対応の仕方が変わった。子どもの気持ちに寄り添えるようになり子どもの自立が早まったようになった。(大人のひきこもり)

問5-3 どのようなところが役立たなかったか。(複数回答可)

問5-1で「役に立たなかった」と感じた14人(8.2%)の内、「講義の内容が事前に期待していたものと違った」が8人(57.1%)と最も多く、次いで「講義のレベルが合わなかった」が6人(42.9%)であった。

(人数)	計	全体比
講義のレベルが合わなかった	6	42.9%
講義が実践的でなかった	4	28.6%
講義の内容が事前に期待していたものと違った	8	57.1%
講義の内容を活かす機会がない	4	28.6%
その他	2	14.3%
無回答	0	0.0%
計	24	-

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

＜「その他」の具体的な回答内容＞ ()内は受講講座名称の略

- ・簿記の知識がなく、難しかった。(NPO会計)
- ・講座関係のことはしていない(発達実践)
- ・開催日時が良くない(平日の昼間)(大人のひきこもり)
- ・体験談中心だったので、体験者としては…(災害ボランティア入門)
- ・多忙な人でも関わりたい(1日でも)と思ったら参加出来ることなどの情報も欲しかった。(共助の地域づくり)

(3) 現在の関心分野・内容

問6 現在関心がある分野・内容について (受講講座ごとに回答を集約)

1 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)

- 発達障害、中国語、英語、キッズ英語
- メンタルヘルス。がっこうに行きづらくなってしまった子のサポート。
- フリースクールなど
- 傾聴
- 療育センターでは1対1はともかくグループ指導では体を優先とするかどうかどう関わるのが良いのか知りたい。
- 福祉
- 成人の障害児支援と地域参加について
- 発達障害児のサポートに加えて投稿ができない子供たちのサポートをどのように進めるかに興味があります。
- 読書家が集まる場作り

2 犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)

- 福祉分野
- 傾聴に関する事
- 人としてより良い生き方を支えるための思想
- 子どもの居場所づくり

3 傾聴講座(入門編) ~人と関わる活動に向けてのスタート~

- 福祉、子ども
- スマホサポーター養成講座です。申込したいと思います。
- 今、担当している子どもが発達障害を持ち、現在不登校気味になっています。私自身も学習しながらではありますが、この児童を元の場所に送り出してあげたいと思っております。発達障がいについて学んで行きたいと思っております。

- 退職後にできるボランティア活動に関心があります。例：配食サービス、子ども食堂、施設でのボランティア活動など。
- 実際に活動する自信はないけれど、犯罪被害者支援について学ぼうとしている。
- 訪日された海外の方の日本での生活サポート
- 発達障がい、ひきこもり
- 現在学童と公文式でパートをしています。子どもがケガをしないよう（危ない動作をしているとき）注意するときに、頭ごなしに怒鳴る先生が多い中他のアプローチが出来ないものか悩んでいます。怒りや反発を生まない形で、しかし厳しく子どもを導けるようになるためにどのような勉強が必要なのか知りたいです。
- 認知行動療法
- 子どもたちが将来の夢を持てるようにするための活動
- 食生活と心身の健康について興味があります
- LGBT
- 農の分野、高齢者
- 福祉（高齢者、障がいのある方）
- ①子育て支援②傾聴講座、実践編
- 新聞記者に学ぶ情報発信スキル

4 災害ボランティア入門講座

- 傾聴
- 国際交流、防災、終活、地域活動など
- 災害対応のシミュレーション/基礎訓練、よりリアルなもの。単発、小さな組織では実行しているものの、現実となったときに、地域を逃げて連携できる認識がありません。
- LGBT
- 防災、福祉

5 災害ボランティアコーディネーター基礎講座

- 国際交流、防災、終活、地域活動など
- 災害対応のシミュレーション/基礎訓練、よりリアルなもの。単発、小さな組織では実行しているものの、現実となったときに、地域を逃げて連携できる認識がありません。
- 発達障がい、学習障がい、アトピー、犯罪者支援
- 福祉、人権

6 NPO会計講座

- 傾聴について興味があります。
- 傾聴講座
- 地域づくり、防災減災、外国人との共生
- まちづくり /居場所づくり/商店街

7 避難所運営に必要な多様性に配慮した視点を学ぶ

- 国際交流、防災、終活、地域活動など

8 ～あなたの人生聞かせてください～ 聞き書きボランティア養成講座

- 人生のしまい方、成年後見制度、8050、マインドフルネス
- 聞き書き
- 在留外国人のために、やさしい日本語で支援してゆくための講義と実践を学べる講座があると良いです。特に様々な国籍の方々を招いての実践の機会があることを望んでいます。
- 環境、災害（防災減災）、教育など
- 実際に活動する自信はないけれど、犯罪被害者支援について学ぼうとしている。
- 傾聴一聞き書きとの違いを知りたい
- 聞き書きをしたい
- 障害者・共感、共生・発達障害
- 発達障がい児とその家族の理解と支援（基礎）。7月の受講は日程の都合が合わずできませんでしたが来年度は希望しております。

9 共助の地域づくりを推進する講座

- 地域と食のつながりを通じた居場所作り。子ども・高齢者のわくをはずしたワークショップ。
- ①少子化 ②地球破壊・気象異常／生物多様の破壊行為 ③生成AIの利活用（悪用?!?）
④そして、地域自活&地域主権、ミニシュパリズム！！
- 届けたい方へうまくこちらの情報を届ける方法 ・新しい世代（若い方たち）を増やす方法
- 現在住んでいる区内の活動可能、参加可能な情報、募集情報が知りたい。
または検索方法が知りたい。
- 共助の地域づくりにおける阻害要因を整理したいので、ご教示願いたい。
- 家庭教育、子育て支援、人材育成

10 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(実践編)

- ボランティアガイド
- 障がい児・者支援～思春期
- メンタルヘルス。がっこうに行きづらくなってしまった子のサポート。
- フリースクールなど
- 地域のお年寄りのお手伝い

11 空き家活用による地域課題の解決と価値の生み出し方

- 人生のしまい方、成年後見制度、8050、マインドフルネス
- 小学校で支援の対象児童、もしくは、支援が必要であろう児童について。
- 高齢者の仕事→働きたい高齢者はたくさんいると思いますが、トシを言うと年齢で断られることが多いのが残念です。
- 家庭教育、子育て支援、人材育成
- 未病対策

12 多文化共生時代を生きる～多様に進む市民活動や大学等との地域連携～

- 外国につながる子ども支援、進学に関する情報提供、母語支援、居場所づくり、外国につながる保護者への支援（通訳、居場所づくり）
- 中学校（含小学校）の教育を貧困・病等でしっかり受けられなかった大人の方々を、「夜間・土日」学校で学習できる機会を与えて、共に学習していきたい。
- 傾聴

13 地域活動リーダー養成講座

- 心理学、哲学的なこと、もっと日本・世界の歴史を学びたい、インテリア・ファッション・断捨離を学びたい、老後の生活を充実できる為の知恵とか、骨格診断とか知りたい
- 子ども、若者に老人をうやまう心の伝達方法の教育を～。日本の男子はレディーファーストの精神がまだまだ足りません⇒アップする方法を。
- 心理学、認知症、認知症予防。身近に母子家庭の方がいて一緒に活動していますが、息子さんが大学に入り、学費の免除額が「生活力が低い」為、他の同じ環境の方の倍の学費を払うため、活動ができなくなりました。（仕事を増やす）どうすれば誰でも安心して生活できるのか…について。
- 子育て支援
- AIの活用

14 NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座

- 地域のつながり、支え合い活動
- 外来生物の対応に関するNPO等の活動状況
- 子ども食堂の運営について（居場所の作り方など）。中間支援団体の活動について。
- 前回NPO・ボランティア団体の活動と運営の基礎を学んだので実務も学んでみたい
- LGBT

15 子育て期の相談リソナルケアラー養成講座(入門編)

- 子どもに関わる分野。乳幼児・小学生の生活をサポートするような活動。
- 子育て、教育 ・地域で子どもを育てるシステムづくり
- 障がい児・者支援～思春期
- リソナルケアラーをもう少し勉強したい。傾聴入門を受けたかったですが、日程が合わず断念。
- 聴く力を伸ばす ・アンガーマネジメント ・非言語コミュニケーション ・思春期やギャングエイジのお子さんとのコミュニケーションのとり方 ・認知症の方への対応のしかた
- 発達障がいの理解とサポートについて
- 発達障がい
- 小学校で支援の対象児童、もしくは、支援が必要であろう児童について。
- コーチング、セルフコーチング

16 世界基準の障害教育=障害平等研修 (DET)

- 認知症や脳の機能障害について
- 障がい者、障害教育

17 食品ロス削減・有効活用の現状を学び、地域での食支援活動を実践する

- 食育や余った食材の有効活用で地域活動や支援をする。
- 地域・社会の活性化につながる活動。地域の人々の健康に役立つ活動。

18 傾聴講座(実践編) ～良好な関係づくりへステップアップ～

- 傾聴講座入門編。新しい分野として「マインドフルネス」「アンガーマネジメント」「行動変容療法」
- 朗読、紙芝居など。
- 今、担当している子どもが発達障害を持ち、現在不登校気味になっています。私自身も学習しながらではありますが、この児童を元の場所に送り出してあげたいと思っております。発達障がいについて学んで行きたいと思っております。
- 認知行動療法
- 傾聴の講座

19 大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座

- 障がい児・者支援～思春期
- 心理セラピー関係の講座があれば受講したい。
- NPOを作るにあたっての事務的なこと
- やはり発達障がい、自閉症スペクトラム
- スマホサポーター養成講座です。申込したいと思います。
- 大人の発達障害、双極性障害、ひきこもり、オープンダイアログ、CRAFT、WRAP、人に伝わる文章を書く
- 終活について(墓じまい、お墓の見つけ方) 親戚の付き合い方、子ども達との付き合い方など。ひきこもりの就労活動、ボランティア(個人の能力の有効活動について)
- 引き続き障害者支援、本人の活動場さがしです
- 地域・社会の活性化につながる活動。地域の人々の健康に役立つ活動。
- 発達障害、引きこもり、依存症

20 園芸療法ボランティア入門講座

- 心理学、哲学的なこと、もっと日本・世界の歴史を学びたい、インテリア・ファッション・断捨離を学びたい、老後の生活を充実できる為の知恵とか、骨格診断とか知りたい
- アクセサリー・バッグの製作、心理学
- 朗読、紙芝居など。
- 森、里、海、環学? : 林業、農業、水産業を統括した包括的な視点を持つとする学問。日本の農業について。
- 園芸療法ボランティア入門講座。受講して良かった。現在「コロナ」で声を出すことが少なかったのが、神奈川区内でシニア合唱講座(全10回、5月～9月・月2回)で、金子みすずの詩を練習しています。地域の町内会の幹事の当番が巡って来たので、今回のカレッジは参加無理です。

- 傾聴の講座
- 園芸療法の次のステップの講座
- 文化資産に関わる分野
- 居場所づくり

21 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座 ～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～

- 文章の書き方、特に自分史のようなもの（あるいは家族史）を書くコツ、スキルetc
- NPOを作るにあたっての事務的なこと
- 傾聴講座（高齢者との向き合い方等）
- 大人の発達障害、双極性障害、ひきこもり、オープンダイアログ、CRAFT、WRAP、人に伝わる文章を書く
- 地域に住む外国人に関して、労働や日本語を学ぶ環境
- 広報

22 新聞記者に学ぶ 広報紙作りの基礎講座

- 新しいコミュニケーションのとりくみ
- シニアの働き方・就労について等
- 多文化共生

23 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

- 子ども食堂の運営について（居場所の作り方など）。中間支援団体の活動について。
- 外国人労働者支援

（４）ご意見・ご要望等

問7 コミカレ講座についてのご意見・ご要望等 （受講講座ごとに回答を集約）

1 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（基礎編）

- 子どもの発達障がいについて、専門家から知識を得たい ・ビジネス中国語、キッズ英語のコース ・障がいを持つ子のきょうだい児のケアについて
- 講座を受講した方同士のコミュニティがあるとよい
- 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（基礎編）を受講したがその後の実践編につながらずがっかりした。基礎編を修了したのち希望者は実践編を受けられるのでなければ中途半端で意味がないと思う。
- 受講料がもう少しお手頃だと嬉しいです。
- 受講料の支払い方法についてネット振り込みに対応してもらいたい
- 前ははまだコロナウィルスの感染症の影響があり実際に対面での教室の開催はかなりご苦労があったと思います。また問題のある受講生の方（不規則発言、付き纏いなど）への対応も非常に適切で、その対応には感心しました。全体として快適に楽しく受講する事ができました。ありがとうございました。
- ご高齢の方々が現在の少子化についてどのような見方をしているのか、語り合う会

2 犯罪被害者支援ボランティア養成講座（初中級）

- センターに行くたびに、今年度のスケジュールはいつでるんだろうと楽しみにしていました。これからも多彩な講座を期待しています。これからも開講し続けてください、というのが一番の希望です。
- ありがとうございました。
- 料金もリーズナブルですし、講師の方々も素晴らしい。今後も続けてほしいです。
- ボランティアを行う方々対象のセルフケア講座
- 参加された方々との継続したお付き合いには至りませんでした。犯罪被害者支援について学べたことは自分にとって大きなプラスになったと思います。充実の内容他の方にもオススメしたいと思います。

3 傾聴講座（入門編） ～人と関わる活動に向けてのスタート～

- 参加希望者が多く、次のステップへの参加ができませんでした（抽選でアウト）。講師の方の手配の問題があると思いますが残念でした。
- 講座を希望してもすぐに定員となり抽選となります。もう少し多くの方が学べるように講座を増やしてほしいです。2025年に東京で「デフリンピック」が開催されます。テレビ等でも手話通訳の場面も増えました。手話の講座ができると嬉しいです。
- 傾聴ボランティア講座はとても楽しく、講師の先生もとても良かったです。ありがとうございました。今後は情報発信する方法やチャット、ユーチューブ発信、愛護会活動のための技術、講座等に参加してみたいです。
- 業務との調整がつけば、積極的に受講したいと思っています。各種情報の発信継続をよろしくお願い致します。
- 時間、場所、受講料、講師など設定は良かった
- 現在、中国語を勉強しながら在日中国人の方を先生にむかえたサークルに所属しています。日本語が全く話せない在日中国人の方の話し相手になるようなボランティアがもしあれば参加してみたいという気持ちがあります。日本の文化や言葉を教えられるようなレベルではありませんし、中国語もまだまだ話せないのですが外国人との交流を深める場をサポートするための何らかの講座があれば受講したいと考えています。とてもざっくりですみません。
- 認知行動療法は誰でも取り入れやすそうなので学べるといいと思います。また、発達障がい児はいずれ大人になります。大人の発達障がいの方は世にたくさんいらっしゃると思うので接し方やサポートについて学びたいです。
- 広範な分野の幅広いテーマを扱っており様々なニーズを汲み取っておられるようにお見受けします。今後も常に新しく生まれてくる各種要望から重要度・優先度の高い課題をすくいあげ講座設定に反映されるようお願い申し上げます。
- 9/12～の子どもの支援訪問サポーター講座に興味があります。傾聴講座は若干わかりにくい内容がありました。
- とても勉強になりました。他の受講者さんとの交流も楽しかったです。
- とても内容が充実していて受講してよかったと思いました。ただ、行動に移すとき自分のように健康不安がある者にはハードルが高く覚悟がいたると思いました。受講後、地域等でうまく活躍されている方はどのような工夫をしているのか知りたいです。
- 一つのテーマが一年に一度しか受講の機会がないことが残念です。何度も落選している方がいると知り、そう感じました。しかし、たくさんの講座を運営されているのでそれも致し方ないかとも思います。一人一人の受講者にきめ細かくご対応いただき、安心して参加できました。ありがとうございました。

4 災害ボランティア入門講座

- すみません、この講座を主催されている組織が、何ができるのか存じませんので、述べられません。
- 空席があれば、再度受講を希望しています。
- 受講したい講座はあるのですが、転職により土曜日が休みでなくなり受講できなく残念です。

5 災害ボランティアコーディネーター基礎講座

- すみません、この講座を主催されている組織が、何ができるのか存じませんので、述べられません。
- 空席があれば、再度受講を希望しています。
- NPOの運営方法、安定した活動の継続

6 NPO会計講座

- オンライン講座が最初の講座参加になりました。講座が分かりやすく丁寧でした。今後も関心のある講座があれば参加したいと思います。
- お世話になりました。また機会があれば受講させていただきます。
- オンライン講座は参加しやすいので、なるべく増やしてほしい。幅広い分野をカバーされていることを知って、とても有意義な活動をされていることに感謝しています。
- 申し込みの手続きが、オンライン等を活用しもう少し簡略化頂けるとありがたいです。

7 避難所運営に必要な多様性に配慮した視点を学ぶ

- スマホの使い方など行きたいが、夏のあつい時なので行くことはむずかしいと考えてしまう。

8 ～あなたの人生聞かせてください～ 聞き書きボランティア養成講座

- とても有意義な講座をリーズナブルな受講料で受けられるので、非常にありがたいです。これからも楽しみにしています。
- 講座終了後、同期の受講生とのつながりでアフターフォローの勉強会を毎月行っています。その折に終了後1年間はお部屋を無料で利用でき有難く思います。活動の基盤を整えて、今後も活動できるようにご支援いただき感謝しています。
- いつもありがとうございます。また学びたい分野が見つかりましたら参加申込みさせていただきます
- 事務局の方の丁寧な対応がありがたく、元気とやる気になります。今後ともよろしく願いいたします。
- なし
- 幅広く、講座を開催して頂き、ありがとうございます。

9 共助の地域づくりを推進する講座

- コロナ禍の中、大変配慮してくださって開催して頂きました。ありがとうございます。
- 住民の主体による、地域自活や地域主権に基づく、地域づくり。行政との連携と言うより、行政の1つのパートとしての予算実行権をもつ運動（活動）を指向する講座（？）の開設を望む
- 大変だと思うのですがzoomを多用してほしいです。気軽に受講できるので。最後は対面とかあってもよいと思います。
- コロナも「5類」となりましたので、講座で紹介いただいたNPO法人の見学・勉強会を是非開催していただきたい。
- 現在は、ありません。

10 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(実践編)

- 特記なし

11 空き家活用による地域課題の解決と価値の生み出し方

- とても有意義な講座をリーズナブルな受講料で受けられるので、非常にありがたいです。これからも楽しみにしています。
- 小学校で支援の対象児童、もしくは、支援が必要であろう児童について知りたい（対応についてなど）。①そもそも支援学級とは ②学習、生活、接し方等（支援が必要な児童とは？特性？定義などあれば）
- 現在は、ありません。
- ワークショップ形式の講座が充実している、運営に優れ理解が深まった

12 多文化共生時代を生きる～多様に進む市民活動や大学等との地域連携～

- 問6で記した「地域の夜間学校」を作るための呼びかけと集り（中心の動くグループをつくるため）の設定までやっていただければ、その後は動いていくでしょう。よろしく願いします。
- もっと受講者間で意見交換ができる場面が多いと嬉しかった。

13 地域活動リーダー養成講座

- 低価格で学びの機会を作って下さり、本当に有り難いことです。高額な所は沢山ありますが、学びたいけど行けない。でもコミュニティカレッジはそんな私でも学べる機会を沢山作って下さり、感謝しています。これからもよろしく願いします。
- 一部の受講生が暴走した場合、講師やファシリテーターがうまく調和させる様努力して欲しい。講師やファシリテーター、事前にもう少し勉強して欲しい。
- もっとみなさんと具体的に社会活動して、世のため人のため精神でやりたいです。
- 認知症の身内ができた時に、どんな援助が受けられるのか。収入の少ない母子家庭に、学費面だけでも援助できる方法を講座にして広めてほしい。
- 実践的なテーマを今後も充実させてください。

14 NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座

- 現在、多忙の為、活動することができていませんが、近い未来へ向けてステップアップしたい為、ほかの講座に参加したいと思っています（オンライン講座しか参加できないです）。
- ファンドレイジングについて学びたいです。
- 中間支援組織で活動されている方のお話を聞いたりつながりを持ちたい
- とても勉強になりました。他の受講者さんとの交流も楽しかったです。
- 有料なのに内容がぼんやりしていて残念でした。もっと具体的な話が聞きたかった。地域に根ざしていない活動も視野に入れて欲しい。ボランティア志望の人の気持ちに立って欲しい。今頃アンケートはそちらの都合ではありませんか。いつも督促されてあきれました。

15 子育て期の相談リスナルケアラー養成講座(入門編)

- 講座受講後の活動の現状が知りたいです。
- 講義内容も興味深く、他の受講生の方ともお話ができ、よい時間になりました。毎回楽しみに参加していました。他の講座の受講したいなと思います。
- 他の講座はわかりませんが、人数は講師と目的にあわせての方が良い（人数が多すぎでした）。参加する方のレベルが幅広く、内容のレベルを分かりやすくした方が良い。
- また、何かの講座を受けたいと思います。来てらっしゃる方が皆さんまじめで素晴らしいです。
- 会場が遠いので、横浜以外の会場でも開催してもらいたい。興味がある講座の日程が近すぎて、仕事を休むには日数が多くなってしまうので、同じ月に同じような分野の講座は入れないでほしい。
- リスナルケアラー講座はとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 小学校で支援の対象児童、もしくは、支援が必要であろう児童について知りたい（対応についてなど）。①そもそも支援学級とは ②学習、生活、接し方等（支援が必要な児童とは？特性？定義などあれば）
- コーチング、セルフコーチングに関する講座を開催していただきたいです。

16 世界基準の障害教育=障害平等研修 (DET)

- 受けてみたい講座がたくさんあります。なかなか諸事情が許しませんが引き続き目を向けてチャンスがあれば受講したいです。

17 食品ロス削減・有効活用の現状を学び、地域での食支援活動を実践する

- これからも幅広い分野の講座開講を期待しています。
- かながわコミュニティカレッジ様の活動に感謝しております。益々のご活躍、発展をお祈り申し上げます。

18 傾聴講座（実践編） ～良好な関係づくりへステップアップ～

- 特になし
- 講座を希望してもすぐに定員となり抽選となります。もう少し多くの方が学べるように講座を増やしてほしいです。2025年に東京で「デフリンピック」が開催されます。テレビ等でも手話通訳の場面も増えました。手話の講座ができると嬉しいです。
- 認知行動療法は誰でも取り入れやすそうなので学べるといいと思います。また、発達障がい児はいずれ大人になります。大人の発達障がいの方は世にたくさんいらっしゃると思うので接し方やサポートについて学びたいです。
- 興味があることで講座を開催していただけると大変うれしいです。受講した講座はとても面白かったです。ありがとうございました。傾聴ボランティアの具体的なやり方など知りたいです。

19 大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座

- 開催日時は、平日の夜間、もしくは土・日・祝日を希望する。他者への援助を目的とした講座が多いようだが、それよりも”セルフヘルプ（自分自身の向上）”のための講座を開催することを切に希望する。
- 録画・限定配信があると助かります。
- オープンダイアログの講座を開講していただきたいです。精神疾患の治療のみならず、家族間の関係改善など幅広い分野で使えるオープンダイアログによる対話実践について学びたいと思います。
- 引き続きの講座を望みます。ありがとうございました。
- かながわコミュニティカレッジ様の活動に感謝しております。益々のご活躍、発展をお祈り申し上げます。
- 抽選になる講座は、関連するものでも良いので開催回数を増やしてほしい。

20 園芸療法ボランティア入門講座

- 低価格で学びの機会を作って下さり、本当に有り難いことです。高額な所は沢山ありますが、学びたいけど行けない。でもコミュニティカレッジはそんな私でも学べる機会を沢山作って下さり、感謝しています。これからもよろしくお願いします。
- お花を育てることが好き…で参加させていただきました。毎回の準備とスタッフの方々の細かな心配りには感謝しながら参加させていただき楽しい時間を過ごせました。帰宅してからも育てる喜びを持続。押花も初めてきれいに出来ました（カードに貼って送付）。参加を機会に、今まで以上に仲間の方々と教室に力を入れようと…自分が一番好きなことを気づくことができました。お世話になりありがとうございました。
- 特になし
- 座学と実技の両方があり、充実していました。
- 元気なうちは直接県外にも出掛けているので、オンラインで受講することは考えていません。患者会、コンサート、大阪民族学博物館の研修講座（9/7～9/10北海道現地集合・現地解散etc.）など参加予定です。
- 興味があることで講座を開催していただけると大変うれしいです。受講した講座はとても面白かったです。ありがとうございました。傾聴ボランティアの具体的なやり方など知りたいです。
- 講座の団体の方々の力もそうですが運営して下さっている事務局の方々も大変細かく対応下さりありがとうございました。スムーズに参加でき気持ちよく時間を過ごせました。

21 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座 ～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～

- 録画・限定配信があると助かります。
- ありがとうございました。
- かながわ県民センターが遠く、午前中に通うことは無理なので、午後の部もあるとありがたいです。また同様な内容で、近くの区役所とかで開催されるとうれしいです。実際通いの講座だけでなく、今回の様にリモート授業は、大変ありがたいです。
- オープンダイアログの講座を開講していただきたいです。精神疾患の治療のみならず、家族間の関係改善など幅広い分野で使えるオープンダイアログによる対話実践について学びたいと思います。
- Zoom参加が大変ありがたかった。仕事と家事と家族のことで時間をとられるため、夜しか時間は作れない。平日夜Zoomだから参加できました。ありがとうございました。

22 新聞記者に学ぶ 広報紙作りの基礎講座

- 県民センターまで行くのに遠いので、県西部の活動も考えてほしい
- アンケート回答が大変遅くなり、申し訳ありません。現在仕事とボランティアそれぞれダブルでやっているの、仕事のチラシ、ボランティアの広報紙作りに大変役に立っています

23 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

- ファンドレイジングについて学びたいです。

—以上—